士会活動報告

第14回とちぎ 福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト

担当部署：住宅改修・福祉用具委員会　　担当者：加藤 芳朗
問い合わせ先　　E-mail：jyuufuku@tochi-ot.com

自助具コンテスト（通称）の目的

（1）障がい者・高齢者に対する理解と認識を深める。
（2）障がい者・高齢者に役立つ生活用品等の開発に資するとともに「障がい・老い」を身近に感じていただく機会とする。
（3）リハビリテーションの一翼を担う「作業療法・作業療法士」についての理解を深める機会とする。

自助具コンテストの概要

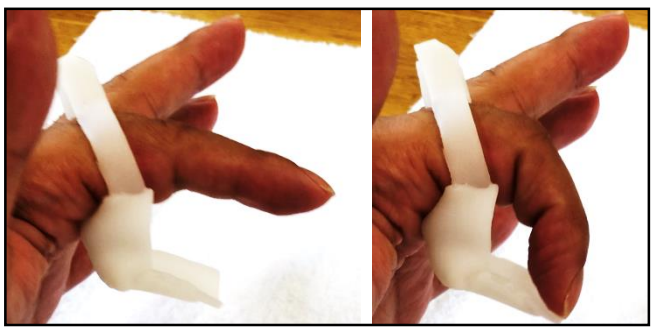
自助具コンテストは栃木県作業療法士会で14年間続いている活動です。栃木県作業療法士会ホームページ及び関連施設へのポスター郵送によって応募案内を行っています。応募方法は自助具作品の概要や適応する対象者、作製方法について応募フォーマットに記載し、メールまたは郵送にて受付しております。また、同年の栃木県作業療法学会の学会長と委員にて採点を行い、学会にて最優秀賞、優秀賞、学会長賞の表彰式・応募作品の展示を行っております。



コンテストポスター

今年度の成果

第14回は応募が8作品ありました。審査の結果、優秀賞2作品、学会長賞1作品となりました。残念ながら最優秀賞に至る作品はありませんでした。
学会長賞：「指1つでつまめる武器」
優秀賞　：「杖ホルダー」
　　「手袋で作る尺側偏位用装具」
毎年、作業療法士だけでなく、他職種や当事者の方から独創的な作品や生活の創意工夫を凝らした作品が本コンテストに届きます。本コンテストはそうした一人ひとりの工夫を情報として発信し、作業療法士及び当事者の方々がより豊かな選択肢を持てるように支援しています。


学会長賞の作品「指1つでつまめる武器」


作品展示の様子

今後の展開

自助具コンテストは栃木県作業療法士会で14年間続く活動です。今後も継続していくとともに、さまざまなツール（パンフレット、映像、書籍など）を用いて自助具の普及・推進をしていきたいと考えています。